



エールを送ろう

1月31日、校内マラソン大会がありました。体育の時間に練習してきた成果を発揮する大会でもあります。ゴールした瞬間に倒れ込む生徒、必死になって声援を送る生徒・・・、自分のために、そしてクラスのために全力を尽くしている姿です。ほとんどの生徒が自己新記録でゴールしました。自分の限界に挑戦する生徒たちの姿はカッコよかったです。

また、同じ日、三豊市花卉部会から、3年生にマーガレットの花をいただき、2階廊下に飾りました(写真左端)。マーガレットは、つぼみがすべて開花し、見ごろを過ぎては花びらが散ったり落ちたりしないということで、「落ちない花」として受験生へのプレゼントに最適であるとされています。今回で3度目になりますが、今年はマスコミ各社が取材に来られ、その様子が当日夕方のニュースや翌日の新聞に大きく取り上げられました。三豊市ホームページの「みとよHOTほっとNEWS」にも掲載されています。なお、今年は各クラス代表が贈呈式に参加しましたが、マスコミからの取材では、突然の質問に対しても適切な受け答えができていくことに感心しました(写真中央・右端)。

このように、家族や先生方だけでなく、地域の人も含めた多くの方が受験生を、そして中学生を応援してくださっています。みなさんの周りにはたくさんのサポーターがいます。そしてみなさんは、応援される立場であると同時に、周りの友達を応援する立場でもあります。互いに励まし合いながら生きていくことの素晴らしさを実感しながら、エールを送り続けてください。



1年	<男子>	<女子>
1位:	湊 文瑠・本田 涼	
2位:	香川 育哉・湊 智尋	
3位:	峯久 祐輝・福岡 沙季	
4位:	武内 隆人・倉本 実侑	
5位:	則久宗太郎・石川 琴美	
6位:	宮武 瑞季・曾我部春香	
7位:	谷口 光希・吉田理菜子	
8位:	辻 大輝・大澤 美香	

2年	<男子>	<女子>
1位:	中野 卓・竹安 美緒	
2位:	舟木 健二・濱上 華子	
3位:	岩原 圭哉・吉田真優子	
4位:	竹内 秀斗・若宮菜里奈	
5位:	太田 貴也・白川 七愛	
6位:	三谷 真矢・織田 鈴風	
7位:	藤原 良磨・三宅 麻友	
8位:	白井 武・海崎 那奈	

※織田・三宅は同着6位

A教頭の「走ることのススメ」～2013丸亀ハーフマラソン編～

今年も丸亀国際丸亀ハーフマラソンに参加しました。昨年は、オーバーワークがたたり、直前にコンディションを崩した経験から、今年はこの舞を演じないようにと計画的に練習をしてきましたが、2週間くらい前から膝に違和感を覚え、不安を抱えながらの出場となりました。

2月3日。快晴、無風の絶好のマラソン日和となりました。スタート直後は、足の状態も考慮し、アップを兼ねてスローペースで走ろうと思っていましたが、まわりのペースにつられ、さらに気持ちが先行してしまい、かなりのハーペースになってしまいました。その影響で、折り返し地点を過ぎてから足が重くなり、ペースが落ち始めました。それでも、沿道の人々の声援に励まされ、そしてこれまでの練習を思い出しながら、15km過ぎから再びペースを上げました。ここでバテなかったのが、地道に取り組んできた練習の成果です。苦しいときに信じるのは、自分自身しかありません。「練習は裏切らない」ことを改めて実感しました。

競技場に入った所で高橋尚子選手がハイタッチで迎えてくださったおかげで、最後の力を振り絞り、ラストスパートをかけました。タイムは、1時間57分37秒。これまでの記録を約2分ほど更新する自己新記録でした。

11月に走った小豆島タートルマラソンでも、そして今回のマラソンでも、ともに昨年の記録を上回りました。身長はもう伸びませんが、記録はどんどん伸びていっています。目標を持ち、それに向けて頑張ることが大切なのです。「年齢」ではなく「志」の問題です。香川の「公務員ランナー」として、まだまだ走り続けます。